



日高クリニック

院長挨拶	201
概 要	202
部署責任者一覧	204
医師一覧	204
職員数一覧	204
年次報告	205
看護部	205
事務部	207
在宅部	208
業績一覧	210
実習・研修生	210
診療実績・業務実績統計	211

松本和博



令和5年度の日高クリニックの概要を報告します。

令和5年度は4年度と同じく新型コロナウイルス感染症（C O V I D-19）の対応に追われた1年でした。ただ5月よりC O V I D-19は感染症法上の位置づけが、それまでの2類相当から5類に引き下げられたことにより、日高クリニックも隔離対策をとってインフルエンザと同様にC O V I D-19の検査体制を整え診療を継続しました。令和5年8月をピークとする第9波、令和6年2月をピークとする第10波が発生し、その後は落ち着いていますが終息することなく高齢者の死亡数も蓄積されています。また3シーズンぶりのインフルエンザの流行がみられ、C O V I D-19との共存が見られました。

診療は例年通り小児科と内科一般を松本が担当しました。土曜の午後のみ隔週で北岡名誉副院長に整形外科診療をお願いしました。診療を支える外来業務は、師長の小島看護師、安光看護師、吉村看護師、井澤事務主任、野々宮事務員が1日平均57人の患者さんに対処してくれました。この人数は前年に比べ10人ほど増加し、コロナ流行前と同程度の患者さんが戻ってくれました。日高クリニック2階に併設している老人デイケア「シルバーコスモス」では、主任の森下理学療法士、竹村看護師が介護職員と一緒に1日平均18人の利用者に質の高いリハビリと介護を提供しました。日高クリニックから徒歩数分の所に日高ケアセンターと認知症対応のグループホーム「ひだかの里」、通所介護「ひまわり」があります。日高ケアセンターでは管理者の下村ケアマネ、濱田ケアマネが在宅での自立支援に向けたケアプランを作成しサービスの調整を図りました。グループホームと通所介護では、施設長の小島看護師、管理者の森下主任が介護職員と一緒にほぼ満床の利用者に、住み慣れた地域の住民としての生活が維持できる介護を提供しました。ただ老人デイケア、グループホーム、通所介護では持病の悪化やコロナ感染の後遺症で、利用者が入院や退所を余儀なくされました。外来、デイケア、グループホーム、居宅介護支援事業所が円滑に回るように事務一般の管理は松田事務長に担ってもらいました。

コロナ感染疑い患者とデイケア利用者、一般患者を分ける動線がないため、暑い中寒い中でも車中で検査を施行していました。職員には大きな負担となりましたが、クラスターを起こすことがなかったのが何よりです。



日高クリニック



第2診療室（整形外科）



待合室

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本部

アドレス・高知

福寿園

積善会

概 要

1. 理念・基本方針・目標

理念

利用者、家族、地域住民に対して、人権を尊重し、在宅ケアの専門職としての実践能力と質の高い医療・看護・介護サービスを提供する。

方針

- 1 患者さまの人権を守り、その人らしさを尊重した援助をし、個人情報の遵守に努める。
- 2 地域住民の疾病予防、健康増進を目的とした予防活動に努める。
- 3 職員間で個人情報の遵守に努め、情報を共有し、他事業所と連携・共働し、効果的なサービスを提供する。
- 4 地域住民のニーズに応え、個別性を重視した質の高いケアを提供する。
- 5 事故に対して、職員全員にて分析して業務改善を行う。そして自己啓発に努める。

2. 沿革

平成8年12月 「日高クリニック」開院
 平成9年4月 老人デイ・ケア「シルバーコスモス」開設
 平成12年4月 居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」開設
 病後児保育「ワンパクひだか」開設
 グループホーム「あったかホームかも」開設
 平成16年2月 ヘルパーステーション「ひまわり」開設
 平成17年1月 グループホーム「あったかホームひだか」開設
 平成22年6月 通所介護「ひまわり」開設
 平成23年3月 グループホーム「あったかホームかも」下分へ移設
 平成23年6月 グループホーム「ひだかの里とんぼ」・「ひだかの里めだか」に名称変更
 平成23年8月 「ひだかの里 めだか・とんぼ」を統合し、1事業所2ユニットになる
 平成27年4月 「社会医療法人仁生会 日高クリニック」となる
 平成29年3月 認知症カフェ「あったかカフェ」開設
 令和3年3月 病後児保育「ワンパクひだか」休止
 令和4年2月 老人デイ・ケア「シルバーコスモス」、居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」、グループホーム「ひだかの里」など在宅部門が細木病院在宅部へ統合

3. 附属施設

診療部門	日高クリニック
通所リハビリテーション	老人デイ・ケア「シルバーコスモス」
居宅介護支援事業所	日高ケアセンター
グループホーム	ひだかの里
共用型認知症対応型通所介護	通所介護「ひまわり」(ひだかの里内に併設)
病後児保育	ワンパクひだか
認知症カフェ	あったかカフェ



検査室



事務室

4. 各施設について

1) 日高クリニック

①敷地面積、建物面積

敷地面積：777㎡ 建物面積：372㎡

②施設の内容（各階の目的、機能別）

2 F	通所リハビリテーション老人デイ・ケア「シルバーコスモス」、厨房、浴室、病後児保育室「ワンパクひだか」
1 F	診療室、処置室、検査室、エコー室、X線撮影室、理学療法室、受付、事務室、待合室

③標榜科目 小児科、内科、整形外科

④許可病床数 無床

2) その他の附属設備について

		敷地面積、建物面積	施設の内容	施設基準
老人デイ・ケア 「シルバーコスモス」		敷地面積：777㎡ 建物面積：171.5㎡	【通所リハビリテーション】 デイルーム・厨房・トイレ 浴室・リハビリテーション室	1 単位 定員37名
日高ケアセンター		敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：20㎡	【居宅介護支援事業所】	介護ケアマネジメント 介護予防ケアマネジメント
ひだかの里 (2 ユニット)	めだか ※認知症カフェ 「あったか カフェ」	敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：208.68㎡	【グループホーム】 1 階：9 室 台所・食堂・居間・事務室 スタッフルーム・洗面所 トイレ・浴室・ロフト	定員 9 名
	とんぼ	敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：229.06㎡	【グループホーム】 1 階：2 部屋 台所・食堂・居間・事務室 スタッフルーム・洗面所 トイレ・浴室 2 階：7 部屋 洗面所・トイレ エレベーター	定員 9 名
	通所介護 「ひまわり」	敷地面積：1211.85㎡ 建物面積：208.68㎡	【グループホーム等活用型認 知症対応型通所介護】 台所・食堂・居間・事務室 スタッフルーム・洗面所 トイレ・浴室・ロフト	定員 1 ユニット当たりユニッ トの入居者と合わせて12名以 下 営業日：月・火・水・金・土・ 日曜日 定休日：木曜日 サービス提供時間： 午前 9 時から午後 4 時30分
ワンパクひだか (病後児保育)		隔離室 5.28㎡ 観察室・安静室 10.5㎡ 保育室 28.5㎡		1 カ所 定員 2 名 休止中

※「通所介護ひまわり」は「めだか」の建物を使って認知症デイサービスを行っています。

※「認知症カフェ」は「めだか」の建物を使って「あったかカフェ」を行っています。



デイケアリハビリの様子



日高ケアセンター面談室

部署責任者一覧 令和6年3月31日現在

診療部	
院 長	松 本 和 博
看護部	
看護師長	小 島 すみ江
在宅部	
シルバーコスモス主任・理学療法士	森 下 将 多
日高ケアセンター管理者・主任看護師	下 村 恵 美
ひだかの里管理者	森 下 小百合
通所介護ひまわり管理者	
事務部	
事務長	松 田 岳

医師一覧 令和6年3月31日現在

小児科・内科	松本 和博
整形外科	北岡 和雄

職員数一覧 令和6年3月31日現在

医師	2	介護福祉士	16
看護師	5	ヘルパー2級	6
理学療法士	1	調理員	1
介護支援専門員	3	事務員	3
介護職員初任者	1	車両班	1
社会福祉士	1	計	40



日高ケアセンター外観



処置室

看護部



外 来

1 概要

看護師長：小島 すみ江
 構成職員：看護師長 1名
 看護師 2名
 合計人数 3名

2 令和5年度 目的・目標

1. 感染予防・健康増進を目的とした活動に努める
2. 個性性を重視した安心・安全な質の高い医療・看護サービスの提供と働きやすい職場づくりに努める
3. 災害対策に対応できるように努める
4. 関係機関と連携を取りながら地域に貢献できる
5. 健全で安定した事業所運営に努める

3 活動内容・目標達成状況

1. 発熱外来対応では、猛暑・極寒の中、体調管理と感染対策を十分に行いながら述べ約1,200件の検査を行った。また、村内での企業健診や日高村役場からの依頼によるワクチン接種・特定健診を行うことで、健康増進に貢献できたと思う。
2. 発熱対応と外来患者待ち時間のバランスに苦労したが、その都度、十分な声掛けを行い対応ができたと思う。また、毎朝行う「おはよう会」で



それぞれの意見や情報の共有を行うことで働きやすい職場づくりができていていると考える。

3. 災害訓練はコロナ禍において積極的に行うことができなかった。
4. 各種予防接種や健康診査・乳児健診など行い地域に貢献できたと思う。
5. 節電や消耗品の節約に心掛けている。

4 次年度の課題

乳児から高齢者さまが日高クリニックを受診され、安心でき、良かったと言われる医療と看護の提供ができるようにしたい。また、地震対策や訓練に対しては、積極的な行動計画を取っていききたい。



グループホーム「ひだかの里 めだか」



グループホーム「ひだかの里 とんぼ」

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本部

アドレス・高知

福寿園

積善会

2023(令和5)年度 予防接種

月	インフル エンザ	四種 混合	二種 混合	MR	肺炎 球菌	ヒブ	小児 肺炎球菌	日本 脳炎	BCG	B型 肝炎	水痘	おた ふく	ロタ	子宮頸 がん	月間 合計
4	0	8	7	4	1	6	4	24	1	6	3	8	3	0	75
5	0	9	1	7	2	7	7	13	4	5	11	2	4	0	72
6	0	7	2	6	0	11	12	18	2	10	7	4	4	0	83
7	0	10	3	4	0	10	10	21	1	6	4	7	5	2	83
8	0	9	6	10	0	5	5	23	2	4	7	5	2	4	82
9	0	11	0	8	4	10	10	13	2	5	6	8	3	4	84
10	138	8	0	5	3	6	6	21	0	6	4	7	4	4	212
11	532	7	1	7	3	9	8	10	2	6	4	12	7	3	611
12	156	7	2	5	1	5	5	7	2	5	7	3	3	2	210
1	46	11	3	5	1	10	11	8	1	7	8	2	4	3	120
2	2	12	1	7	4	9	9	14	1	9	6	3	5	0	82
3	0	10	1	9	13	13	13	14	5	11	4	5	4	11	113
年間合計	874	109	27	77	32	101	100	186	23	80	71	66	48	33	1,827

2023(令和5)年度 看護師業務表

月	内 科	小 児 科	整 形 外 科	細 木 病 院 紹 介	他 医 院 紹 介	E K G	X - P	エ コ ー	B 1	生 化	検 尿	ア レ ル ギ ー 検 査	注 射	ワ ク チ ン	インフル 予防接種	点 滴	特定健診	乳児健診	一般健診
4	589	340	20	2	16	5	27	0	103	43	28	6	7	109	0	8	1	0	4
5	572	418	23	4	13	6	26	1	117	53	31	3	10	83	0	18	0	3	0
6	611	569	29	2	12	6	25	0	126	54	32	4	8	76	0	9	4	1	2
7	622	495	25	6	12	4	13	1	91	41	30	2	14	69	0	19	2	6	1
8	630	471	40	3	17	7	23	0	117	38	30	0	6	79	0	16	0	1	2
9	626	437	23	1	10	5	16	0	108	55	30	0	12	90	0	16	0	1	3
10	784	591	20	1	12	4	11	0	96	34	27	2	10	58	252	7	6	0	3
11	802	590	21	2	8	15	29	0	126	47	42	0	5	63	481	7	4	1	4
12	734	537	27	2	7	7	30	0	98	39	40	2	10	72	110	6	3	0	1
1	639	434	25	3	12	9	25	0	79	49	22	1	10	68	16	6	3	1	2
2	693	475	26	1	8	5	23	0	99	42	33	2	11	74	0	2	3	0	3
3	629	456	19	2	13	12	27	0	119	54	51	6	9	103	0	0	7	0	10
合計	7,931	5,813	298	29	140	85	275	2	1,279	549	396	28	112	944	859	114	33	14	35

その他 日々、マイコプラズマ抗原、ストレプト、アデノ、RS、インフルエンザ、ヒトメタニューモウィルス検査など実施している。

(文責：看護師長 小島 すみ江)

細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本部

アドレス・高知

福寿園

積善会



総務・医事

1 概要

事務長：松田 岳

構成職員：事務 1名

医療事務 2名

合計人数 3名

2 活動内容・目標に対する達成状況

- ・ 外来総患者数14,042人、1日平均57.1人の患者が来院。医事課職員2名体制で受け付け対応および診療報酬請求を実施
- ・ 新型コロナウイルスワクチン接種（一般・幼児～小児）について、日高村役場との日程や当日の段取りなどの調整および打ち合わせ実施
- ・ 日高クリニック保健医療機関指定の更新など各種行政への申請・届け出を実施
- ・ 各補助金事業の申請（新型コロナウイルス関連、物価高騰対策など）
- ・ 日高村外への広報活動として、佐川町・いの町広報誌への広告掲載を継続実施
- ・ 日高クリニックホームページの定期更新
- ・ 外来無料送迎バスの運行（令和5年度延べ利用者194名※毎週月金運行）
- ・ 各施設における修繕などに関する業者発注および進捗状況の確認・現場立ち会い
- ・ 消防訓練・災害訓練の実施や、施設全体の消防設備の維持管理を実施

3 今後の課題

- ・ 診療報酬改定などによる診療単価低下への対策
- ・ 回復した外来患者数の維持に焦点を当てた取り組み



- ・ 各施設の老朽化による設備更新・修繕費用増加への対策

4 まとめ

令和5年度の外来患者数は前年度より大幅に増加した。5月より新型コロナの5類引き下げにて検査可能機関になったことや、日高村および近隣地域での新型コロナ感染症の流行、冬季にはインフルエンザの同時流行により年齢問わず発熱外来が年度を通して繁忙した。また、小児科ではRSウイルス感染症やヘルパンギーナなどの小児感染症の流行もあり、外来患者増加に寄与した。

令和6年度は、前年度増収に大きく貢献した発熱外来のコロナ関連特例措置がなくなる。さらに6月からは、診療報酬改定により診療所としては外来診療単価の低下が予測される。ともに収益に直接的に関わる問題であり、これらへ対処していくことに注力していく。

（文責：事務長 松田 岳）

在宅部



日高ケアセンター

1 概要

管理者：下村 恵美

構成職員：主任介護支援専門員 1名
介護支援専門員 2名
(うち1名グループホーム兼務)
合計人数 3名

2 活動内容・目標に対する達成状況

①安全で質の高い看護・介護サービスの提供と働きやすい職場づくり

接遇マナーに留意しご利用者・職員間でも思いやりのある対応に心掛けた。

日高村村民、村内事業所職員参加の講演会、月1回の介護支援専門員連絡会、WEB研修の参加・事例検討会ではスパービジョンを考えながら参加し、マネジメント能力の向上・自己研鑽に努めた。

②健全で安定した事業所の運営をする

給付管理に関して、特定事業所加算Aの算定。新規に関しては地域包括や医療連携室、住民から直接の依頼もあったが施設入所、長期入院があり件数は昨年よりも減少している。大規模災害発生時感染症発生時のBC委員会に参加し情報集約訓練に参加、隣接する施設と合同で災害訓練を行い、利用者さんと一緒に防災意識を高めている。



③安心して生活できる地域づくりに向けた関わりをする

地域ネットワーク会議に参加し、独居高齢者について情報交換を行い、民生委員や地域見守り隊ボランティアとの連携を図った。地域の方と顔の見える関係づくりにも取り組んだ。

3 今後の課題

独居、認知症高齢者、複雑化した家族への関わり、経済的な問題など、ご利用者・家族一人ひとりのニーズに応じたマネジメントを行う必要がある。

地域のネットワークを広げ、他機関や地域住民との関係性、信頼される事業所を目指す。

(文責：管理者 下村 恵美)



老人デイ・ケア シルバーコスモス

1 概要

主任理学療法士：森下 将多

構成職員：看護師 2名
理学療法士 1名
介護福祉士 1名
2級ヘルパー 2名
介護職員初任者 1名
調理員 1名
車両班 1名
合計人数 9名

2 活動内容・目標達成状況

1. 安全で信頼される質の高い看護・介護サービスの提供と働きやすい職場づくり。

・安心で安全なサービスを提供するため、利用者の状態に応じて、ケアの方法や健康観察、運動、レクリエーションをできるだけ、根拠を持って対応



するように心掛けた。

・接遇面での病院全体での研修や言葉遣いなどの問題があって事業所での独自の研修も行った。これからも常に初心を忘れずに対応していきたい。

- ・ミーティングは定期的には月に1回、それ以外にも随時実施し、情報共有や業務改善を図ってきた。
- 健全で安定した事業所の運営をする
 - ・年間平均利用者数は17.8人／日で目標値の18.5人／日を下回った。
 - ・災害訓練や感染症訓練は病院全体での研修も含め定期的に行うことができた。
 - ・介護報酬改定に向けての情報収集や変更事項の準備を行うことができた。
 - 安心して生活できる地域づくりに向けた関わりをする
 - ・地域ケア会議は開催が少なかったが、連絡協議会や防災関連での連携を図ることができた。

3 課題

1. 接遇面の向上、サービス提供内容を充実していく

(文責：主任理学療法士 森下 将多)



グループホーム ひだかの里 めだか・とんぼ

1 概要

施設長	小島 すみ江
管理者	森下 小百合
構成職員	介護支援専門員 1名
	計画作成担当者 1名
	社会福祉士 1名
	介護福祉士 15名
	介護従事者 3名
	合計人数 21名



ひだかの里 めだか

2 活動内容・目標に対する達成状況

活動内容

コロナ感染症に注意し、日高村内の紫陽花や秋桜などの季節の花を見学した。また、毎年恒例の小村神社大祭への参加や、利用者さまの希望で日下駅100年を記念し改築した駅の見学をするなど、楽しみながら在宅生活の継続を心掛けた。

毎日毛糸玉の作業をユニットごとにし、「干支辰」「森の仲間」の作品を、日高村展示会に今年も出品した。そして、村展見学時は、地域の園児や小中学生、日高養護学校、地域の方々の作品に刺激を受けた。

また、今年は地域貢献であり、防災について地域で共に考える機会の提供として、体験型防災訓練「防災の集い」を実施した。起震車、防災グッズ「枕元の防災備品」の販売、アルファ米おにぎり・芋煮汁の非常食の炊き出し、段ボールベッドなどの防災用品の体験などをしていただいた。非常に大盛況で、地域住民・事業所・民生委員・自治会・家族・職員などの約100名の参加があり、小さなお子さまから年配の方までの参加があり、世代間交流の場ともなった。



ひだかの里 とんぼ

目標に対する達成状況

- ①安全で信頼される質の高い介護サービスを提供する。

ACPは利用者一人ひとりにリビンウィルシート聞き取りをして、運営推進会議で家族に伝え、皆で共通理解できた。接遇は毎月振り返りをして、気付きを実践に活かしている。

- ②事業所の安定した運営をする。

在宅部のBCP委員会活動に参加し、災害時や感染時の対応を学び、いざというときの実践力を鍛

必要がある。

2. 利用者数増加に向けて関係各所との連携を強化して調整を行っていく必要がある。
3. 介護報酬改定に伴う変更事項を不備なく行う。

4 まとめ

利用者数に関して、上期は平均利用者数19.6人／日であったが、下期は16.0人／日で入院や利用終了者も多く年間での目標値を下回った。介護報酬改定に向けての準備は、細木病院在宅部と連携して行うことができた。各項目での研修については、病院全体または事業所において適宜職員全員が実施した。今後もデイケアでの感染症対策を引き続き徹底し、安全で安定した事業所運営を行っていききたい。

えている。今後も継続することで、持続可能な事業所を目指していく。また、地域で選ばれる施設になるように、個々の職員が認知症の専門性を高めるように、研修に力を入れている。

③地域づくりに貢献する。

防災の集いでは、地域の方と防災について一緒に考える良い機会となり、地域貢献ができた。

③今後の課題

災害時には利用者・家族・地域の方々・職員が協力し対応ができるために、訓練を繰り返すことと、地域の協力体制を構築するための関係性を目指していく。ま

た、災害や感染時にも事業を継続していくための、計画・研修・訓練の実施を母体病院と共同し順次していく。

④まとめ

利用者さまの安心した暮らしを、常に念頭においた支援を継続する。事業継続計画を順次実施していき、災害・感染に備えていく。地域密着型の事業所として、地域での役割を果たしていく。認知症の専門力を高め、実践に活かすためにも、ワークの機会を増やし、事例に対しての根拠に基づいた支援を職員全体とする。

(文責：管理者 森下 小百合)



通所介護 ひまわり

①概要

管理者：森下 小百合

構成職員：担当者 1名

(ひだかの里めだか職員兼務)

利用定員：3名

開所日：月・火・水・金・土・日

③今後の課題

地域の認知症の方が在宅生活の継続ができるように、地域密着型の事業所の役割として、日高村担当者やケアマネジャーと協力し、本人さまの不安や家族の不満や負担を軽減できるように相談支援をしていく。

④まとめ

認知症になっても住み慣れた日高村で、その人らしい生活が継続できるよう今後も支援していく。日高村の認知症の拠点として、地域の方々に認知症の相談なら「あそこへ行こう」と思ってもらえるように尽力する。

(文責：管理者 森下 小百合)

②活動内容

グループホーム共用型ならでの特性を活かし、閉じこもりや他のデイサービスでは受け入れが難しい利用者さまも、柔軟な対応で利用につなげている。個別性を重視したケアの提供をしている。特に入浴拒否の方が多く、当事業所でしか入浴をしてない利用者がほとんどである。

▶▶▶ 業績一覧 (2023年4月1日～2024年3月31日)

■ 在宅部

老人デイケア シルバーコスモス

□ 座長

1. 森下将多：セッションⅡ-④ 生活環境支援系、第51回四国理学療法士学会、高知市、2023年11月26日
2. 森下将多：一般演題④ 生活環境支援系、第37回高知県理学療法学会、高知市、2024年3月24日

□ その他

1. 森下将多：四国理学療法士学会 査読委員

▶▶▶ 実習・研修生 (2023年4月1日～2024年3月31日)

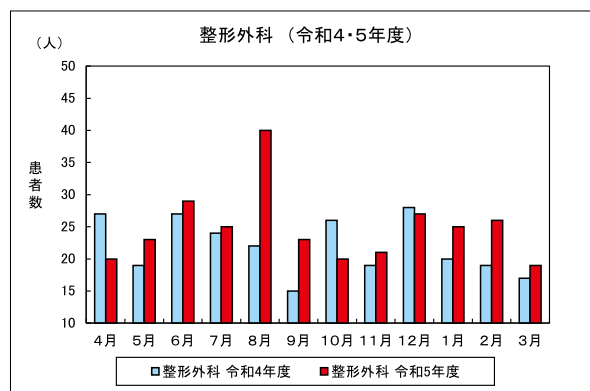
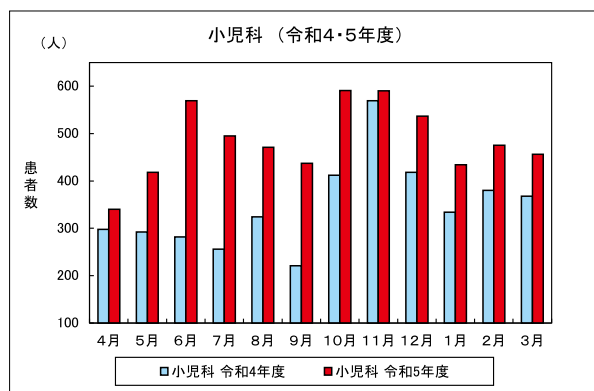
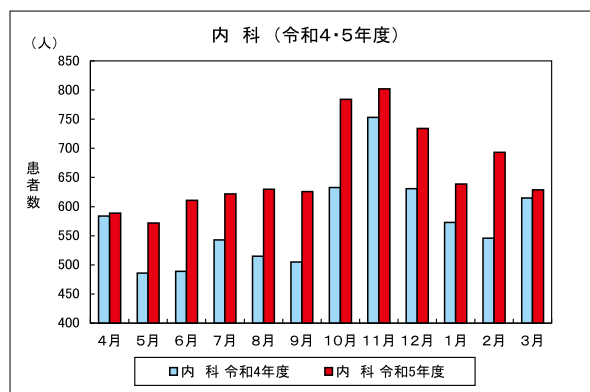
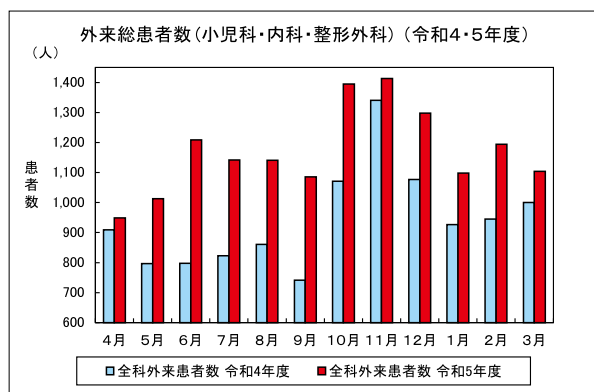
依頼元名	延べ人数
在宅部（日高ケアセンター）	
高知県社会福祉協議会	1
合計	1

日高クリニック

■ 外来 業務実績

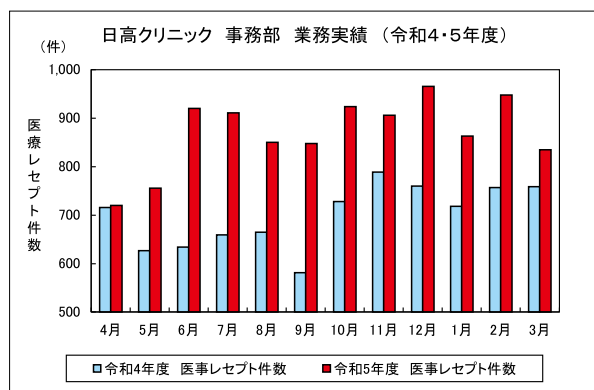
病棟形態	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
外 来	小児科(人) (1日平均)	340 (17.0)	418 (20.9)	569 (25.9)	495 (23.6)	471 (22.4)	437 (21.9)	591 (28.1)	590 (31.1)	537 (24.4)	434 (22.8)	475 (25.0)	456 (21.9)	484.4 (23.7)
	内科(人) (1日平均)	589 (29.5)	572 (28.6)	611 (27.8)	622 (29.6)	630 (30.0)	626 (31.3)	784 (37.3)	802 (42.2)	734 (33.4)	639 (33.6)	693 (36.5)	629 (28.6)	660.9 (32.4)
	整形外科(人) (1日平均)	20 (10.0)	23 (11.5)	29 (14.5)	25 (12.5)	40 (20.0)	23 (11.5)	20 (10.0)	21 (10.5)	27 (13.5)	25 (12.5)	26 (13.0)	19 (9.5)	20.0 (12.4)
	公費予防接種(人) (全種※インフル含まず)	60	33	44	37	39	42	32	28	39	38	42	59	41.1
	全科外来患者数(人) (1日平均)	949 (47.5)	1013 (50.7)	1209 (55.0)	1142 (54.8)	1141 (54.3)	1086 (54.3)	1395 (66.4)	1413 (74.4)	1298 (59.0)	1098 (57.8)	1194 (62.8)	1104 (50.2)	1170.2 (57.3)

※整形外科は土曜日午前中のみ診察のため土曜日回数による1日平均。全科外来患者数は営業日数による1日平均。



■ 事務部 業務実績

施設形態	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
医事課	医事レセプト件数(件)	720	756	920	911	850	848	924	906	966	863	948	835	870.6



細木病院

三愛病院
あつん高知

日高クリニック

本
部

アドレ
ス・高知

福寿園

積善会

■ 居宅介護支援事業所「日高ケアセンター」 業務実績

施設形態	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
居宅介護支援事業所	介護給付利用者数(人)	55	53	53	51	47	46	45	42	44	44	45	48	47.8
	予防給付利用者数(人)	15	16	15	15	16	16	18	20	21	19	21	19	17.6
	合計	70	69	68	66	63	62	63	62	65	63	66	67	65.3

■ 通所リハビリテーション 老人デイ・ケア「シルバーコスモス」 業務実績

施設形態	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
通所リハビリテーション	利用者数(人)	44	44	43	41	39	36	36	37	36	37	34	38	38.8
	延べ利用者数(人)	408	414	470	428	362	347	329	317	324	296	312	375	365.2

■ グループホーム「ひだかの里」 業務実績

施設形態	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
グループホーム(2ユニット)	入居者数(人)	18	18	18	18	19	19	18	18	18	18	18	18	18.2
	延べ入居日数(日)	516	555	510	541	513	507	558	520	530	557	520	540	530.6

■ 通所介護「ひまわり」 業務実績

施設形態	令和5年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	月平均
通所介護	利用者数(人)	4	3	3	3	4	5	4	4	4	5	4	5	4.0
	延べ利用者数(人)	49	36	28	36	27	47	43	34	48	40	15	45	37.3

